

令和2年度第2回リニモ沿線地域づくり会議

1 開催日時等

日 時：令和2年12月11日（金） 10時30分～11時50分

場 所：地球市民交流センター 体験学習室

参加者：委員10名、オブザーバー3名、事務局21名（詳細は「出席者名簿」参照）

2 会議の概要

(1) 開会

あいさつ 藤田リニア・交通対策監

- ・愛知県都市整備局リニア・交通対策監の藤田でございます。年末の大変お忙しい中、また、新型コロナウイルス感染症が再拡大する中、令和2年度第2回リニモ沿線地域づくり会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。
- ・リニモの今年度上半期の利用状況につきましては、1日あたりの利用者数は13,273人、対前年同期比47.5%と大変厳しい状況となっております。
- ・その推移を見てみますと、6月以降は社会経済活動の再開に伴い、徐々に回復し、ここ数ヶ月は7割前後となっているものの、テレワークの浸透や大学におけるオンライン授業の継続等により前年までの水準に戻らない状況が続いております。
- ・こうした厳しい状況ではありますが、長久手市観光交流協会様、あいち尾東農業協同組合様、藤が丘まちづくり協議会様をはじめとした皆様のお力により、「リニモで地産グルメスタンプラリー」、「藤が丘大文化祭」、「光と音の散歩路」等の集客イベントが開催され、リニモ沿線地域も少しずつにぎわいを取り戻しつつあると感じております。
- ・また、ジブリパークにつきましては、2022年秋の開業に向けて、着実に歩みを進めているところであります。
- ・前回の会議でも申し上げましたが、今後の当地域のまちづくりにおいては、このジブリパークの開業インパクトをリニモ沿線に広く行き渡らせることが、重要な課題であり、また、皆様の期待するところであると考えておりますので、次期プランの策定により沿線地域のさらなる魅力向上を図ってまいりたいと思います。
- ・本日の会議では、前回10月の会議でご意見をいただいた点に対する修正案を中心に事務局より説明させていただきますので、ご確認いただくとともにさらなる修正が必要であればご意見・ご提案を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- ・以上、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

(2) 議題

ア 前回地域づくり会議における意見への対応について

資料1により事務局から説明した。

イ 「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025（仮称）」案について

資料2、3、4、5により事務局から説明した。

【委員・事務局発言要旨】

○委員長

ありがとうございました。前回貴重な意見をいただきまして、ワーキンググループの方で修正や検討を行い、本日の提案になっております。皆様のご意見ご質問をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

○亀倉委員

このプランは誰を読み手として想定しているのか確認させてください。

○事務局

行政を含めて、地域の方などを幅広く想定しております。

○亀倉委員

本プランにおける3つのキーワードについて、この表現ではリニモ沿線の特徴が何も出てこないのではないかと思います。例えば、ゼミの学生や授業をとっている学生に地域づくりの講義でこの資料を配布して、これに沿って地域づくりで何をするのかを投げかけるときに、このキーワードは漠然としすぎているので、リニモ沿線地域ならではのキーワードをもっと大きく記した方がよいと思います。確かに、左側に小さく黒い文字で書いてはいるんですけども、小さくもったいない。おそらくこの方向に向かって地域が進みたいんだなと読んだ人が意識するようなキーワードの魅せ方を考えるといいのではと思いました。例えばですが、「何度も訪れたいくなる沿線」だったら、「地域の魅力が向上し観光客を呼び込む沿線」の方が、それを読んだ学生たちがその方向に向かって考えていくんだというふうに思います。2つ目は、「都市と環境が調和し住みやすい沿線」。3番目、最後は、沿線にするべきだと思います。一番大事なキーワードはM a a Sだと思いますので、「M a a Sを取り入れた効率的で快適な移動が可能となる沿線」となっていると、私たちも学生たちも大きな方向性の中で地域づくりについて考えていけると思います。これを手にする多くの人がリニモ沿線地域はこの方向に向かって進もうとしているんだなと意識できるのではないかと思います。

○事務局

キーワードを使って、読み手にプランがどのような方向を示しているか分かるようにというご意見であったかと思っております。本文の12ページのところでその辺の展開をしているわけですが、カギ括弧の要点だけだと分かりづらいところもあるかと思っておりますので、もう少しわかりやすくというご意見については、検討させていただきたいと思っております。

○委員長

本文の12ページに同じようなことが書いてあって、亀倉委員が言ったものではM a a Sが入っているか入っていないかが違うだけなんですけれども入れられるものなのか入れられないものなのかどうでしょうかね。

○事務局

交通基盤についての施策には様々ありますので、何をキーワードとして取り上げるのかということは検討があるところかと思っております。確かにM a a Sは大きなところで、社会実装させたい気持ちはあるんですけど、キーワードとしてどうするかは少し検討させていただきたいと思っております。

○委員長

今の段階では、まだ検討の余地があるという見解でしたけれど、例えば、沿線を広域的に捉えて広域観光を考えていくときにM a a Sとセットにしていく。そういった使い方をして行く事で今の提案が活きると思います。

○市川委員

思ったところを話させていただきます。重点プラン案について、リニモ沿線で事業をさせていただいている事業者としては、リニモ沿線を活性化することは非常にありがたいと思っています。重点プラン案の14ページの下の表のキーワードについてですが、「充実した都市機能と自然環境が調和した『住み続けたい沿線』」の重点施策4の⑫沿線住民や沿線大学・学生と協働した地域づくりとあります。今年はリニモ沿線地域活性化事業において、リニモ沿線の活性化を図るために食を一つのキーワードとして、沿線の商店と一体となって「リニモで地産グルメスタンプラリー」を実施していただきました。当時お手伝いさせていただきましたが、主要施策の中に沿線の商業者というキーワードも入れていただいて、沿線内の経済循環が達成できるように記載していただくとよいのかと思いました。

もう一つは、43ページの主要施策10「自然環境の適切な維持管理と農あるくらしの推進」、ということですが、4行目に「沿線地域の農業に適した土地」とあります。農業を行うのは農地だと思うので、表現は「農地」の方がよいのかと思います。また、5行目から「農あるくらし」を通じて環境保全、癒し、健康福祉、交流教育等ということでございます。農業の大切さを踏まえて、沿線地域が活性化すればよいと思いますので、食農教育というものも、交流教育の中に含まれているのかもしれませんが、入れていただくことを検討いただくとありがたいと思います。ご検討よろしくおねがいします。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございました。いただいた意見は、基本的に反映して修正していきたいと思います。

○村田委員

非常に丁寧に前回の議論を踏まえて、修正いただきました。1点だけ、都市機能について十分に書けているということで特に変更しなかったという説明でしたが、前回も指摘した通り、都市というのは都と市という字を書くので、マーケットとオフィス機能を持たせる必要があるのではないかという話をさせていただいたと思います。どういうことかという、現状、沿線地域に住んでいる人の多くが、名古屋又は豊田に通勤しています。地域をよりコンパクトなまちとしてせっかくリニモでつないでいるのであれば、リニモ沿線である程度働く場所があるということが大切です。ウィズコロナの時代を考えれば、わざわざ名古屋などリスクの高い場所で働かなければならないということではなく、沿線地域の中で働ける場所があったり、そこに会社がなくてもリモートオフィスがあり、コピー機などが利用できたり、また、ITが苦手な人には支援があったり、自宅では難しいことでもできるサテライトオフィスのようなものが地域にあるというのは重要なことだと思う。都市機能というからにはオフィス機能があって然るべきであるのでご検討いただきたい。

○事務局

書けるかどうかを関係者に問い合わせ、書けそうなところがあれば反映させていただきたいと思います。

○委員長

東京はサテライトオフィスを民間で作っていますが、名古屋圏の状況はいかがですか。企業秘密なども管理でき遠距離通勤しなくてよいのでサテライトオフィスの需要はあり、そういう動きも出ていると思います。こういう動きは村田委員の意見と関連していると思います。

○事務局

東京ではかなりサテライトオフィスがあり、報道で知る限りの情報ではありますが、民間鉄道が沿線開発をしているので、その中で設けている動きがあります。一方で、愛知県ではサテライトオフィスの設置についてまだ耳にしたことはないです。

○委員長

将来的にそういう方向性になる可能性もあるので、在宅で広い家に住んでいればできると思うのですが、企業秘密となればサテライトオフィスは必要になるかと思うので検討してみてはどうでしょうか。

○清水委員

前回言うべきか迷って言わなかったのですが、このプランは5年間の目標ということですが、持続可能な集約型まちづくりとあるので、長期的な視点も必要かと思います。10年後から20年後に、同世代の住民が年老いていわゆるニュータウン問題が起こり得ると思うので、多世代居住であるとか、世代交代をどうやってうまく進めて持続可能なまちにしていくかという視点を入れていただきたいと思います。

また、今回の市街地整備によって、新しい住民が多く住むようになりましたが、よくあるのが、移住してきた人と既存の住民の交流みたいなのが上手くいかないということです。ベッドタウンとしての名古屋との往復だけで地域の人と交流が無いことが多いと思いますので、この点でリノモテラスなどの施設に期待しています。施設を活用するという意味でも、そういったことを書いていただけると良いと思います。

○事務局

関係する施策は色々あるので、こういう視点でという記述を施策の説明に盛り込んでいくことを検討させていただきます。

○委員長

多世代居住などに関して、データを示してくれると良いと思います。市の総合計画とかで作っていると思いますが、例えば10年間や15年間で年齢構成や世帯構成がどのように変化しているのかがモニターできると清水委員が言っていたことについて対応がもう少し具体的に書けるとと思います。

また、せっかく大学が多くあるので、大学内にサテライトオフィスを作って民間企業と交流する仕組みもあれば、この地域でしかできないことができるかもしれないと思います。1980年代頃、サイエンスパークが流行した時期がありまして、大学内につくるか大学外につくるか議論があり、イギリスでは、大学の中にある方が、企業が図書館など大学の施設を使いやすく、また理系と文系の人材がいるので相談しやすいという利点があるということです。一方で、外に作ると移動しなければならないことが障害となります。

豊橋市がサイエンスコアを作りましたが、私は豊橋技科大にいまして、豊橋技科大の中に作るとより企業と連携できたかなと思うのですが、市の土地があるのでそちらに建設してしまった様です。大学の姿勢もありますが将来的に、検討の余地があるのではないで

しょうか。

○松宮委員

重点プラン 48、49 ページのところについて3点ほど気づいた点があります。1つ目は、沿線の特徴として、万博のことが公園や施設の話でしか出ていない気がしています。自然の叡智、自然との共生の部分と重点戦略4の市民参加の部分は万博の理念の継承ということで、もしかしたらここに入れてもいいのではと思います。今の学生にとって万博は過去の話であり、知らないです。なので、万博があったこととその理念をプランに盛り込んでもいいのではと思います。

2つ目は、SDGsの話に関連するのですが、基本的にリニモ沿線にはリニモを使ってきてもらって交流をするのだと思います。ジブリパークだけではなくリニモを使って、徒歩で藤が丘から八草までの色々な場所に行って散策してもらいたいということで、健康増進もSDGsの3に入れておいた方が良いでしょうし、また、モリコロパークでは自転車の活用にも力を入れていますし。この健康増進の部分も前面に出すと、観光も含めてつながってくるのかと思うのでそういう文言があってもよいと思います。

3点目は、無理して入れる必要がないかもしれませんが、平和について、リニモテラスの4つのテーマで多文化共生があって、この共生は広い意味での共生を指していると思います。直接的に言えば難民の問題など国際的な理解のベースにある平和の理念をどう学んでいくのかということも関わってくるので、無理やり入れる必要はないかもしれませんが、SDGs 16番目の平和の話は、観光交流、多文化共生のところで盛り込んでいくと、万博の理念の部分も活かしつつ、より展開が広がるかと思います。

○事務局

最後の平和については、考えが及ばなかったところもあるので、ご意見を参考にさせていただいて加えていきたいと思っています。また、観光について、徒歩だとか自転車だとか健康増進につながるということもございましたので、その辺の視点も踏まえて見直したいです。万博の理念が戦略や施策について出ていないということで、確かに現状分析のところでは載せているのですが、戦略や施策では具体的に書いてないので、基本的にはその様な視点を文章に入れる方向で検討したいと思っています。

○山崎委員

私の専門分野が観光なので、重点戦略1の「魅力向上によるにぎわいの創出、交流の促進」について意見を述べます。まず、大前提としてWGをはじめ、このようにまとめているので、できあがったプランに異議はありません。私が意見を申し上げさせていただいたのは今後の話についてです。今回、リニモ沿線地域を拠点として広域観光を促進することを本プランに含めるということで、スタート地点に立たせていただいたと思っています。先ほどより観光について先生方から承っているんですが、現在の観光の潮流が、コロナ禍の状況もあって、CRM (Customer Relationship Management) ということがよく言われます。どういうお客様に来てほしいか、何を目的として観光地に訪問するのかということが非常に大事で、その人の希望にあった場所に来て消費する場合は、消費単価の高いものを高い満足度で消費する傾向があります。そういうことを積極的にDMOという組織が観光について色々と研究しています。何が言いたいのかといいますと、まだ、ジブリパークはできていないが、ジブリにはどういうお客様が何を目的として来られるのか、単純にジブリそのものということかもしれませんが、先ほど出た平和や自然や癒しなど、データ

を蓄積して、これに関する広域観光につながる素材が県内にはたくさんあると思うので、そういう場所に行っていただけるような仕組みを作るなど、ジブリに来てもらって、いわゆるシャワー効果を図ることもできると思います。私どもも豊田市で観光地のデータをとっていて、案外気づかないところも出てきて改善点もわかってきました。そういう観点では、愛知県さんでは観光部局の話になると思いますのでさらに連携をとっていただいて、展開をしていただけると良いと思います。

○事務局

作って終わりではなく、これからがどうしていくのかが来年以降、重要だと思うので、ジブリパークにどのような客層がきて、どのように案内して観光につなげていくのかは重要な視点であると思います。観光部局では広く愛知県全域を捉えて取り組んでいますけど、観光部局と連携しながら、沿線市の観光地等も含めた広い意味でのリニモ沿線地域を周遊してもらえそうな取組を来年度以降、進めていきたいです。

○委員長

ジブリについては、コロナの時代で、入場者を予約で管理することが必要かと思えます。それによって情報を管理することができます。その際に、どういう人がどこを見ているかというデータが蓄積されるので、コロナの状況下で、密にするか疎にするかということはお客さんの危機と平常を切り分けられる方法になるので、それを基にサービスを強化していくことができ、それが先ほどのM a a Sにもつながると思います。M a a Sで時間のコントロールができて、移動がきちっとできるように繋がっていければ良いと思います。ジブリの入り口のところを、I Tを使っていくという方向性がプランから書かれていないので、限定されたかたちで良いと思うので、加えられると良いと思います。それからお金の面も安心してキャッシュレスで利用していただく仕組みを入れるということもあると思います。ご検討ください。

○亀倉委員

ツーリズムという話がありましたが、国際性というところがほとんど書かれていないことがすごく気になっています。モリコロパーク、リニモなど、国際性という観点で、この地域は全体的にグローバルな地盤を持っていると思います。20 ページではユニバーサルデザインと書いてあり、海外の方も身体的弱者も等しく、誰でも同じような体験ができる機会をとということかと思えます。そういったことから、ジブリパークもそうですが、海外からのお客さんを意識するのは重要かと思えます。地域づくりという観点では少し外れる部分はあるかもしれませんが、ツーリズムや観光客の集客を意識して重点戦略1の部分で、新型コロナで難しい部分もあるということは理解していますが、2021年から2025年の5年間のことなので、最初から切るのではなくて、大きな目でこの地域は国際性を取り入れられる地域だと思うので、配慮いただけるといいのかと思えます。

○事務局

個々の施策では関係するところがありますが、重点戦略1のところには言葉がないので、国際性も非常に重視していること示す方法を考えます。

○柴田委員

中日新聞で発表されていたが、リクルート住まいカンパニーによる「住んでいる街実感調査 2020 愛知県版」でリニモ駅が4 駅挙がっています。杵ヶ池、はなみずき通、古戰場、藤が丘と愛知県内でもリニモ沿線はこれから発展するというデータが出ているので活か

していきたい。また、大東建託が実施した「街の住みこちランキング 2020 東海版」においても、長久手市がトップで、名東区も 4 位、日進市が 9 位ということで住みやすい地域となっています。

14 ページに重点戦略と主要施策とありますが、先ほど話がありましたようにやはり抽象的な表現のためインパクトがないので、私としては、万博の意思を受け継いで SDGs などについて重点戦略などの中に取り入れられるとインパクトがあると思います。藤が丘も再整備を行います、そういったコンセプトを入れていこうと思っていますし、また、国交省でポストコロナのまちづくりを検討されているので、コンパクトシティだとか自転車だとか新しい観点も出ているので、そういった大きな目標として、先をにらんでそういう言葉も入れると良いと思います。

観光の面では、ホテル機能について、藤が丘にはサンプラザという施設が以前ありましたが、取り壊されました。宿泊機能があまりないと思うので、どこかのエリアで設けると、一泊なり滞在していただけて良いと思うので書き入れていただけたらと思います。また、リノモでできていただくことと合わせて、ポストコロナの概念として、自転車を使った移動というのがあります。香流川の緑道を自転車で移動することや里山のツアーなど広がっていきますので、そういった観点も検討いただけたらと思います。

○事務局

ホテルについては、17 ページに宿泊施設の整備ということで、瀬戸駅周辺においては報道発表にあったので明示していますし、2 ポツ目で他の地域についても検討を行うと書いていますので藤が丘を含め、沿線において可能性があれば検討していきたいと思います。自転車についても視点をいただいたので、書けるのであれば入れていきたいと思いますが、また、キーワードと重点戦略についても、抽象的にならざるを得ない部分はありますが、他にも意見いただきましたので、一度検討していきたいと思います。

○高田委員

重点プランについては、先生方が意見述べてくれたので私の方から伝えることはありません。私としては今後の話が重要であると思います。先ほど愛知県さんのほうから、ホテルの話がありましたが、昨日、市の方が進めているルートインホテルズと協定締結までいったということです、瀬戸市では着々と進めているという感じです。どのように進めていくかということで、資料 1 の 10 ページで、例えば、商業目的以外のもののスタジオブリとの調整やプラン進捗状況を毎年確認し連携が必要となる取組・事業があれば、事務局から適切にはたらきかけていくというご回答をいただいたわけですが、2020 年はもう終わろうとしており、2021 年しかやる時間がないと思います。なので、重点プラン公表後のスタートダッシュが重要だと思う。この 1 年で連携なり道筋を具体的にこういうスケジュールでやるということを詰めていかないと、絵にかいた餅になってしまいます。例えば、サテライトショップの設置で、どのようなスケジュールでどういうことができるのか、19 ページの名産品の PR 開発はどのように開発していくのか、18 ページの観光ルートの作成もどういう仕組みでどのような体制でやっていくのか、というようなことを、来年中に枠組みを作っていくと間に合いません。やはりジブリンパクトが大事なので、そういうところをしっかりとやっていけば、リノモ沿線地域の発展に繋がると思いますので、策定後速やかに愛知県を中心にやってほしいという要望です。

○事務局

ジブリできたお客さんに地域に来てもらうということで、観光ルートの作成などは重要だと思う。県全体については観光部局がやっているが、我々はそれと連携してリニモ沿線を見てもらいたいということでやっているの、東部丘陵線連絡協議会という沿線市と県が一緒になって盛り上げていこうという組織がありますので、プランを作成するだけでなく、来年以降そういったこともしっかり議論してやっていきたいと思っている。

○高田委員

プランの進捗状況を毎年確認してと言っていると、一年が終わってしまいますので速やかにお願いしたいと思います。

○堀場委員

リニモテラス構想の中で、来年6月に供用開始となる。それに従って、長久手観光交流協会というのは、交流という流れを前面に出して、大学連携としてどのように地域の中で活用していただくかということを考えている。ただ単に通過して名古屋に行くだけというような街を望んでいるわけではなく、元々リニモテラス構想というのは、外から来た人も地元の人も地域の共生とそこで出会いの場を作って観光としての交流を作ること、このことについては、まだ表に出ていないのですが、理事会では、大学との連携をどうやって行くのか何をテーマにするのかという話がある。地域の共生、つまり従来の人と新しい人との交流が少ない状況で、せつかくいい場所ができ、愛知県の交通対策課でリニモ沿線の一つのテーマとして活性化をしようとしている最中に、我々としては新しい人たちと従来の人たちとの活性の場所を、何とか活路を見出すために考えている。それを大学の学生と皆さんに、若い人の考え方で取り組むテーマとしていろいろなことをやっていただければ、と期待を持っている。リニモテラス構想というのは単に建物だけではなく人とのつながりと交流の場所といろいろなことを考えてやっているものです。重点プランについては、意見はありませんが、これからの実行の5年間をどう連携していけるか楽しみに考えています。

○事務局

今後5年間で進めていくわけですが、長久手市と長久手観光交流協会と一緒に、リニモテラス構想についても、県やリニモの協議会等でやっていけることがあれば取り組んでいきたいと思っています。

○村田委員

SDGsはどこに書くかについては難しいところだと思っています。少し考えたのですが、14 ページであれば、将来像は以前からのものなので簡単には変えられないのですが、前段のところで、愛・地球博とSDGsはリンクしているということを書いていただいているので、例えば将来像に一言加えて「SDGsを目指して、愛・地球博の成果を継承・発展させるまち」とするときちんとリンクするのではないかと思います。

○事務局

将来像は確かに地域づくり構想の時に書かれた文言ではあるのですが、実は、文言が時代に合わなくなっている部分については一部を変えさせていただいている部分があります。今いただいたご意見を参考に考えたいと思います。

ウ 今後のスケジュールについて

資料6により事務局から説明した。

(3) その他

特になし。